

Harvard 大学での長期滞在

物理学専攻 博士課程 1 年 蘆田祐人

2016 年 8 月 9 日から 11 月 4 日までの期間、Harvard 大学の Eugene Demler 教授のグループに滞在し共同研究を行った。Demler 教授は冷却原子及び凝縮系物理の理論家であり、近年は冷却原子気体におけるポーラロンの物理に関して多くの成果を上げている。今回の滞在では多体束縛状態を持つポーラロンの実時間ダイナミクスについて研究を行った。私が日本で行っている研究とは多少異なる分野の研究であったが、新しい結果も得られ自分の研究分野を広げる事ができた。

Harvard 大学では第一線で活躍している世界中の研究者によるセミナーが頻繁に開かれ、セミナーに参加する事で最新の研究動向に関する知見が多く得られた。この点は今後日本で研究を進めて行く上でも大いに参考になるだろう。

今回の海外派遣をサポートして下さった ALPS 関係者の皆様、及び現地での滞在でお世話になった Demler グループの方々と田中秀宜氏に深く感謝を申し上げます。



Harvard 大学の紅葉